

7月の衛研検査情報

～トピックス～

医動物・種類同定検査結果（平成30年4月～6月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 平成30年4月から6月の種類同定検査件数は、昆虫類4件でした。

[コウチュウ目1件] …「寝室の羽毛布団の上に多数の虫がみられた」との相談から、カツオブシムシ属の幼虫が同定されました。一般に乾燥した動物質を食しますが、穀類などの植物質も加害します。毛織物や絹製品、魚類の干物や穀物などの害虫として知られる種が多くいます。

[ハエ目2件] …「給食室ホールの出窓に多数の羽虫がみられる」との相談から、クロバネキノコバエ科の一種が同定されました。成虫の生息場所は主に屋外、森林内が多く、屋内でみられる成虫は活発な活動はせずに、窓際や植物に静止していることが多いようです。幼虫は腐植物質から発生しますが、発生源が不明なことも多く、屋外から飛来する場合と屋内の植木鉢の肥料などから発生する場合があります。

[ハチ目1件] …「小学校の砂場にハチが多数みられる」との相談から、ヤマトスナハキバチが同定されました。成虫は夏季に砂地に営巣し、幼虫の餌としてヨコバイ類やキジラミ類を狩ります。



カツオブシムシ属の幼虫



クロバネキノコバエ科の一種



ヤマトスナハキバチ

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成30年6月は、大麻（マリファナ）、B群レンサ球菌感染症、疥癬（かいせん）、EBウイルスと伝染性単核症、クロストリジウム・ディフィシル感染症、水痘・帯状疱疹に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は154,678件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。